

令和 3 年度第 1 回帯広市健康生活支援審議会障害者支援部会会議録

日時：令和 3 年 1 0 月 2 2 日（金）午後 7 時 3 0 分

場所：市役所庁舎 1 0 階 第 5 会議室 A

□会議次第

1. 開会

2. 会議

- (1) 令和 2 年度第 3 回障害者支援部会の会議録確認
- (2) 第三期帯広市障害者計画 令和 2 年度実施状況報告
第五期帯広市障害福祉計画 実施状況報告
- (3) 令和 2 年度帯広市障害福祉関係決算及び主要な施策について
- (4) その他

3. 閉会

□配布資料

- 資料 1 令和 2 年度 第 3 回帯広市健康生活支援審議会障害者支援部会会議録
- 資料 2 第三期帯広市障害者計画の個別施策評価一覧表
- 資料 3 第三期帯広市障害者計画の施策評価表の進捗状況について
- 資料 4 第三期帯広市障害者計画の指標の進捗状況について
- 資料 5 第五期帯広市障害福祉計画実績報告
- 資料 6 令和 2 年度 帯広市障害福祉関係決算内容
- 資料 7 令和 2 年度 帯広市一般・特別会計主要な施策の成果（抜粋）

□出席委員（5 名）

畑中三岐子委員、田中利和委員、眞田清専門委員、中山典子専門委員、坂村堅二専門委員

□欠席委員（3 名）

細川吉博委員、坪井一身専門委員、丸山芳孝専門委員

□事務局

障害福祉課

家内郁子課長、梶穂課長補佐、本郷泰規障害福祉係長、山口主任補

子育て支援課

関口美恵課長補佐、林健太郎子育て支援係長

令和3年度第1回帯広市健康生活支援審議会障害者支援部会会議録

【1. 開会】

事務局

お時間ですので始めたいと思います。それではただいまから、第1回障害者支援部会を開催させていただきます。本日はお忙しいところ、ご出席頂きましてありがとうございます。本日委員の細川吉博様、専門委員の坪井一身様、丸山芳孝様より欠席のご連絡を頂いております。委員・専門委員8名中5名のご出席を頂いております。本日の会議は成立しておりますことをご報告いたします。次に本日の資料について、確認させていただきます。事前に送付させて頂いた資料として、会議次第、資料1 令和2年度第3回帯広市健康生活支援審議会障害者支援部会会議録、資料2 第三期帯広市障害者計画の個別施策評価一覧表、資料3 第三期帯広市障害者計画の施策評価表の進捗状況について、資料4 第三期帯広市障害者計画の指標の進捗状況について、資料5 第五期帯広市障害福祉計画実績報告、資料6 令和2年度帯広市障害福祉関係決算内容、資料7 令和2年度帯広市一般・特別会計主要な施策の成果（抜粋）を郵送させて頂いております。そのほかに本日配布資料としまして、座席表を机の上に配布させて頂いております。それでは、この後の議事ですが、本日細川部会長が欠席となっておりますので、畑中副部会長にお願い致します。畑中副部会長、どうぞよろしくお願ひ致します。

【2. 会議】

(1) 令和2年度 第3回障害者支援部会会議録確認

副部会長

ご紹介頂きました障害者支援部会副会長の畑中でございます。それでは始めに、議題(1) 議事録の確認でございますが、前回の会議の会議録をご確認頂きたいと思ひます。なお、この会議録はこの場でご確認頂いた後、市のホームページにて公開される予定になっております。会議録につきまして、皆様方から訂正箇所、またご質問・ご意見等ございましたらお願ひいたします。ございませんか。よろしいですか。

委員

はい。よろしいです。

副部会長

では本件につきましては資料1のとおり確認されましたので、このとおり公開させていただきます。

(2) 第三期帯広市障害者計画、令和2年度実施状況報告、第五期帯広市障害福祉計画実施状況報告について

副部会長

続きまして、議題(2) 第三期帯広市障害者計画、令和2年度実施状況報告、第五期帯広市障害福祉計画実施状況報告について議題といたします。事務局よりご説明をお願ひいたします。

事務局

資料2、3、4、第三期帯広市障害者計画の評価についてご説明させていただきます。

この計画ですが障害者基本法第11条の規定に基づきまして、障害のある人に関する施策を総合的に推進するための基本計画として、第七期帯広市総合計画の分野計画として位置づけ策定しております。

計画期間は令和2年度から5年度までの4年間としておりまして、障害や障害のある人に対する正しい理解のもと、人権が尊重され多様な個性を強みとして認め合うと共に、自己選択と自己決定のもとに社会のあらゆる活動に参加することができる地域づくりを目指すことを計画の目標として、3つの基本的視点、さらに8つの施策の展開方向を設けております。

資料2第三期帯広市障害者計画の個別施策一覧表をご覧ください。各施策の展開の方向に対しまして、それぞれ2つから6つの主な施策を設け合計24の施策を設定しております。この後ご説明致しますが、資料3令和3年度施策評価表にありますように、個別施策ごとに令和2年度の実績・進捗状況を確認し、関係課において取り組み状況などを評価した上で、主な施策の総合評価として記載してございます。評価につきましては、順調に進んでいるというものをA、概ね順調に進んでいるというものをB、更なる進捗が必要なものをCとして評価をしております。資料2の4ページをご覧ください。評価結果ですけれども、令和2年度の評価につきましては、全体で24施策があるうちAが16項目で66.7%、Bが8項目で33.3%となっております。Cはございませんでした。参考となりますが、第二期帯広市障害者計画の最終年度である令和元年度の評価につきましては、Aが59.3%、Bが40.7%という状況でした。第二期と第三期で施策の体系の表現は一部変わっておりますが比較致しますと、施策は昨年度より進んできているものと捉えております。

続きまして、資料3令和3年度施策評価表の各施策の評価をご説明致します。資料3をご覧ください。こちらにつきましては、時間の都合もございまして全ての説明は割愛させていただきます。重点的な推進項目となっているものについてご説明致します。なお、上段の施策体系の番号でページをお探し頂きますようお願い致します。資料3の1ページ目、I障害と障害のある人に対する理解の促進の1理解と交流の促進、そして1の啓発・広報活動などの充実です。こちらの取り組み内容と致しましては、新型コロナウイルス感染症の影響からおもてなし清掃ですとか、お楽しみクリスマス会などが中止になったものの、感染症対策を講じながら障害者週間記念事業を始めとする作品の展示や販売・パネル展示などを行いました。新たな取り組みと致しましては、市内の全小中学校で帯広市民学手話講座を実施し、障害や障害のある人に対する理解を深めることができました。そのため評価と致しましては、2施策の評価の右側に記載がありますが、B概ね順調に進んでいるとしております。続きまして、II-3-1相談支援の充実についてご覧ください。こちらも2施策の評価に記載の通り、相談支援の充実の取り組み内容としましては、障害や発達に不安のある児童など困りごとを抱える障害のある人に対して、適切な支援ができるように帯広市基幹相談支援センターや帯広市地域自立支援協議会において、事例検討などを実施しスキルアップを図りました。また、地域ケア会議でも民生委員や町内会などの地域住民、医療、介護、福祉関係者、行政職員などが個別の課題解決や支援の充実のための話し合いを行うことを通して、関係者の連携促進を図るなど関係機関の連携や機能強化・人材育成を行っております。そ

う言ったことを総合的に勘案致しまして、施策の評価としてはAの順調に進んでいるとしております。次に、施策体系としてはⅢ自立した地域生活への支援の充実、6安全安心な生活環境の整備・促進の2防災・防犯体制の整備についてです。こちらの取り組み内容としましては、帯広避難支援プランに基づき、災害時要援護者の避難支援を地域で行うための個別計画作成協議会の設置の推進を継続している他、福祉避難所の受け入れ態勢の充実を図りました。また聴覚障害者ファクス緊急通報システムなど、通報システムの周知を福祉ガイドやホームページにて実施致しました。以上の状況から施策の評価としましては、Bの概ね順調に進んでいるとしております。次にⅢ-8-1雇用・就労支援の促進でございます。取り組み内容と致しましては、ハローワークや障害者就業生活支援センターなどの関係機関と連携し、障害のある人の就業支援や障害のある人への企業理解を進めています他、帯広市の事業所雇用実態調査を実施しまして、障害のある人の雇用に掛かる啓発、並びに実態把握を行いました。また就労系の福祉事業所と農業者とのマッチングを行い、今後障害者や農業者から希望があれば適宜繋ぐことのできる体制を一定程度整備することができました。以上のことから、施策はBの概ね順調に進んでいると評価します。次のⅢ-8-2福祉的就労支援の充実ですがこちらの取り組み内容と致しましては、帯広市地域自立支援協議会の就労社会活動部会の中で、就労系福祉サービス事業所の障害に対する理解ですとか、支援の質の向上を図ってきました。また障害者就労支援施設等から優先調達方針を策定し庁内へ周知しておりまして、発注を促進している他、福祉の広場やイベントにおいて授産品の展示販売の機会を設けるなど、障害のある人の製品や事業所などの認知度の向上を図りました。以上のことから、施策はAの順調に進んでいると評価しております。この重点的な推進項目ですが、計画の理念を実現するために特に重点的に取り組む必要がある施策として設定しております。4つの全ての項目につきまして評価はB以上となっておりますので、順調に進んではおりますけれどもB評価となりました障害者理解、防災、防犯、雇用・就労支援の促進につきましては、引き続き現在の取り組みを進めると共に、今ある課題に対して積極的な施策の展開を行っていく必要があると考えております。

続きまして、資料4をご覧ください。1枚ものの資料になりますが、第三期帯広市障害者計画の指標の進捗状況についてとなります。こちらの指標がこの計画の基本的視点に基づき、計画の取り組みの効果と進捗状況などを図るために設定しております。3つ指標を設定しておりますけれども、まず一つ目、ふれあい市政講座の参加者数です。こちらは基準値となる平成30年は575人でしたが令和元年度は319人、令和2年度は2,635人となっております。目標値の675人を既に達成しております。これは資料3でも触れましたが、令和2年度から新たな取り組みとして市内の全小中学校で帯広市民学の手話講座を実施してきたためと考えます。今後についても手話講座を継続すると共に、障害者差別解消法ですとか合理的配慮の市民周知を図ることで、障害や障害のある人に対する理解を深める取り組みを実施してまいります。二つ目、障害のある人の個別課題の検討会議の開催回数についてです。こちらは基準値となる平成30年が28回と記載してありますけれども、令和元年度は24回、令和2年度は14回と目標値の34回に向けて進捗していない状況です。こちらにつきましては新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、対面での会議の開催が中止ですとか、延期となってしまったことにより開催回数が減少したものです。今後は感染症対策を講じた会議の開催方法などの検討を行いまして、支援が必要な人の課

題解決に繋がるよう様々な関係機関が参加できる会議を開催してまいります。三つ目、障害者雇用率を達成した企業の割合についてです。指標につきましては、基準値となる平成30年度は46.8%、令和元年度は52.7%、令和2年度は53.4%となっておりますので、目標の60%に向けて順調に進捗しております。これは市や事業所による相談対応や就労移行、継続支援事業などを通じた社会参加の促進、企業の職場体験により、障害のある人の就労意欲の向上や企業理解が進んだものと考えております。一方で、障害者の法定雇用率の引き上げが今年3月にございました。そういったことに伴い、民間企業などにより一層の雇用促進が求められているところがありますので、今後も受け入れに対する課題などを企業と共有し、障害のある人が働きやすい環境づくりに繋げていく必要がございます。本計画よりこういった三つの指標を設定しておりますが、順調なものやそうではないものがある状況です。指標の結果の数値は、どこか1つの施策の取り組みの結果のみで結びついてくるものではなく、施策全般を連動させながら効果的に進めることが重要と考えております。今後も重点的な取り組み項目を中心としながら、施策全般の取り組みを進めてこの指標について進捗していけるよう取り組んでまいります。

それでは続きまして、資料5をご覧ください。第五期帯広市障害福祉計画実績報告でございます。この計画は、昨年度の第六期計画策定にあたりまして開催した合同部会でご議論頂いております。その時評価したものにつきましては、策定時の令和2年度の数値が見込みの数値となっておりますので、本日はこの資料よりご報告致したいと思っております。実績については、一部新型コロナウイルス感染症の影響などから減少したものもございますが、概ね横ばいか増加しているものです。また、一部見込み量を上回るサービスもございましたが、障害のある人のサービス需要にはある程度対応できたものと考えております。こちらについては、評価は既に昨年度に議論しておりますので、詳細は資料をご確認頂ければと思っております。説明は以上です。

副部長

みな様から何かご質問・ご意見がございましたら承りたいと思っております。いかがですか。はい、お願い致します。

委員

手話出前講座を市内全小中学校で実施したということですが、こういう取り組みは非常に大事だと思いますし、全小中学校で行ったというのがすごいと思います。これは、継続して行くことで障害理解も段々深みがある理解になると思います。あとは、手話もちろん大事だと思いますがいろいろな障害種別が、こういう障害があつてこういうふうに生きている方がいるなど、やって頂ければいいなと思うのが一点です。

もう一点、新型コロナウイルスでなかなか会議ができませんでした。地元の福祉関係の集まりなどでZOOMを使えるようにしようとみんなで頑張りました。スマホやパソコンを持っている人はリモートの活用を、持っていない人に関しては広めの部屋にスクリーンを置いて等、ハイブリッドという形で、会議を減らすというのではなく、リモートも慣れてくると段々会議らしくなってくるので、そういう形ででもやっていくことで、なるべく減らさないように頑張ってもらいたいと思います。

事務局

市内小中学校、教育委員会の方の協力などもあり進められたということもありまして、たいへん多くの方に手話に触れて頂けたかなと思っております。ろう者の方に講師を務めていただいておりますが、普段、なかなか接することのない障害者の方と接することができて、実際に参加した小中学校の生徒さんからも参加して良かった、楽しく手話を学べたといった好意的なご意見も頂いたところであります。委員のお話しのとおり、障害のある方で困っている方々の理解をどうしていくか、どういう支援をしていけばいいかといった理解を今後市民の皆様に広めていかなければならないなと感じております。周知の方法等、今後とも工夫していきたいと思っております。

もう一つは会議ですね。会議の開催に関して今回の指標に現れていますが、ケア会議の回数が減っているという結果がでています。リモートももちろん活用しながらになりますが、直接会って話す事で、言葉のキャッチボールや相手の気持ちを汲み取りやすくなる等対面の利点もありますので、感染対策に気をつけながら、なるべく対面で行える会議の工夫等もしていきたいと思っております。

副部会長

ただいま、障害者の啓発活動について手話を進めて頂いているのはとてもありがたいし、もっと他の障害についてもこれから進めてほしい。コロナ対策でリモート会議などもこれから利用して会議も工夫して行って頂きたいというご意見でした。ありがとうございました。

(3) 令和2年度帯広市障害福祉関係決算及び主要な施策について

副部会長

続きまして(3) 令和2年度帯広市障害福祉関係決算及び主要な施策について事務局よりご説明お願い致します。

事務局

はい、それでは資料6をご覧ください。こちらは令和2年度帯広市障害福祉関係決算の内容でございます。まず資料ですが、一番左側に事業名を記載しております。予算科目のうち目として大きく障害福祉費があるのと少し下段の方になりますけれども重度心身障害者医療給付費とございまして、大きくこの二つの目で事業が成り立っております。そして、各事業につきましては白い丸ですけれども障害者理解促進費があつて、その中にさらに小さなポツが4つありますが、ノーマライゼーションエリア推進事業費など4つの事業で構成されているそういった記載になっております。一番下の段、下の行ですけれどもその障害者福祉費と重度心身障害者医療給付費二つの合計の金額を記載しております。資料を横に進めて見て頂きますが、まず大きなくりとして令和2年度の当初予算ということで数字が並んでおります。右側の列に障害福祉課が担当する予算額、その隣の段に子育て支援課と地域福祉課が担当する予算額という内訳になっています。二番目の大きなくりとしましては令和2年度の最終予算①と記載がある欄がございます。これは昨年12月に補正予算を組んでおりまして当初予算に対しまして1億6,342万9千円補正し

て、最終予算が変わっているということになっています。次の右側のくくりとしましては令和2年度決算、ここは②と入っております。こちらの欄につきましては、令和2年度の決算額になります。次に増減②－①と記載しておりますが、こちらは決算額から最終予算額を引いた数字となっております。三角が付いておりますけれども白の三角が付いていますものは、予算に対して不用額が生じているものとなります。それでは中身についてご説明致します。令和2年度障害福祉関係決算は一番下の行、右から6列目67億5,333万9,868円でございます。これは、民生費総額488億5,414万3,304円のうち13.82%になっています。令和2年度最終予算額としましては、一番下の行の左から4列目68億8,954万6千円となっておりまして、それに対しますと98.02%の執行率となっております。不用額につきましては一番下の行、右から3列目1億3,620万6,132円となっております。この不用額の主な要因といたしましては左側の事業名の白丸上から2つ目、障害者自立支援給付費のポツの一つ目ですね。障害者自立支援給付費の利用者数ですとか、その下のポツ2番目の障害者自立支援医療費ですけれども、こちらの自立支援医療（更生医療）における1人当たりの医療費の減により不用額が生じたものです。このほか、令和2年度の単年度の事業と致しましては、昨年度の第六期帯広市障害福祉計画を策定した他、事業名で申しますと、障害者地域生活支援費（臨時）と入っているところがございます。それと地域活動支援センター費（臨時）となっておりますけれども、こちらが新型コロナウイルス感染症対策として、市内の日中一時支援、移動支援、訪問入浴サービス事業所、地域活動支援センターに対して支援金を交付したものでございます。その他、障害者と福祉的活動基盤整備費に含まれるものですが、市民活動プラザ六中のボイラーの改修工事を行ったものがございました。決算の概要については以上でございます。

では、資料7をご覧ください。こちらは令和2年度帯広市一般・特別会計主要な施策の成果の抜粋でございます。こちらは一般・特別会計の主要な施策の成果のうち障害者施策に関するものを抜粋しております。時間の関係もございまして、簡単にご説明します。まず表紙をめくって頂きまして左側のページ、施策2－1－7子ども発達支援事業、2－1－19介護給付・地域生活支援事業とあります。こちらは令和2年度における障害児の利用実績となります。次1枚ページをめくって頂きまして、5－2－1地域生活支援拠点等整備促進事業では、相談支援の関係の事業を掲載しております。基幹相談支援センターとして十勝障害者総合相談支援センターの他、相談支援事業所5箇所に委託しております。その他、総合相談員等10人を市役所の障害福祉課の窓口配置して相談支援を行っております。相談件数は11,966件受けておりますけれども、中には相談内容が複雑化しており、対応の困難なケースもいらっしゃるような状況です。次に各種手帳の交付状況でありますけれども、これは令和3年3月末現在の数字ですが、それぞれの手帳所持者数で身体障害者手帳が7,330人、療育手帳が2,124人、精神障害者保険福祉手帳が1,704人と交付されております。身体障害のある方は減少傾向にある一方で、知的障害の方・精神障害のある方が増加傾向にある状況でございます。5－2－5障害者自立支援給付事業ですけれども、自立支援給付ということで介護給付、訓練等給付の延利用者数は31,748人となっております。こちらでは障害者総合支援法に基づくヘルパーの居宅介護というサービス、生活介護、施設入所支援、就労継続支援といったサービス提供を行っております。次に5－2－6、障害者医療給付事業の更生医療でありますけれども、こちらは例えば関節に障害があって人工関節に換え

ますとか、人工透析が必要な治療などといった医療給付を行っており、受給者数586人に対して給付しております。重度心身障害者医療の給付につきましては受給者証をお持ちの方が3,518人いらっしゃいまして、次のページに記載がありますが、助成の件数としては71,037件となっております。そのページの一番下の項目5-3-1障害者就労促進事業では、帯広市地域自立支援協議会、就労・社会活動部会を2回開催し、事業所の障害に対する理解ですとか支援の質の向上を図りました。障害者職場体験実習につきましては、一般企業への就職を目指す障害者の方々に市役所の7課で体験実習を実施しております。こちらには5つの事業所から14人の方にご参加頂いた状況です。その他の事業はこちらの資料をご覧頂くことにして、決算及び主要な施策の成果の説明につきましては以上でございます。

副部長

はい、ありがとうございました。ただいま令和2年度帯広市障害福祉関係決算及び主要な施策についてのご説明を頂きましたが、皆様から何かご質問はございませんか。私から聞いてよろしいですか。決算のご説明の中で障害者自立支援給付費が減になっているとご説明を頂いたのですが、年々増えていくのかなと思っていたのでなぜ減になったか教えて頂きたいなと思います。

事務局

障害者自立支援給付費自体は、年々増加している状況でございます。今回、資料6でいうと白丸の二つ目障害者自立支援給付費の右側の増減で6千百万となっておりますが、このように予算に対して6千万円の余りが出た要因といたしましては、予算で見込んだ人数、これまでの障害のある方の利用者の伸び等を見込んで予算を計上したところであるのですけれども、その見込み程は伸びなかったという結果でございます。結果として6千万の減となったところでございます。

副部長

はい。ありがとうございました。その他、みな様から何かご質問・ご意見ございませんか。なければ、本件については終わらせて頂いてよろしいですか。はい。ありがとうございます。

(4) その他

副部長

続きまして、その他についてです。特に議題は用意されていないようですが、せっかくの機会でございますので、みな様から何かご質問がありましたらお受けしたいと思います。何かございませんか。よろしいですか。事務局からもよろしいですか。

【3. 閉会】

副部長

特になければ、以上で本日のすべての議題を終わらせて頂きます。以上を持ちまして、本日の障害者支援部会を閉会致します。次回の部会については日程が決まりましたら、部会長よりご案内させていただきます。本日は、夜分たいへん遅い中ありがとうございました。